

中央区立郷土天文館「タイムドーム明石」
平成29年度企画展「一明治150年一文明開化と中央区の遺跡」

【特別展趣旨】

平成30年（2018）は、明治元年（1868）を迎えてから150年になります。江戸時代後期から明治時代はじめにかけて、江戸幕府から明治政府への政権交代がおこなわれましたが、当時の中央区周辺は変わらず日本の中心地であり、文明開化に向けた動きが早くにみられました。

中央区では築地外国人居留地の開設や、銀座レンガ街の建設など、西洋化に向けた動きが進みました。ところが、元々町人地（庶民）の中心地として栄えていたため、土地利用が大きく変化した武家地とは対照的に、庶民の暮らしが残る場所も多くありました。

今回の企画展では武家地と町人地を中心に、区内の遺跡より出土した遺物から、中央区の文明開化前後の人々の暮らしについて紹介します。

【期間等のご案内】

◎期 間 平成30年2月3日（土）～3月21日（祝）

◎時 間 ・火～金曜日 午前10時～午後7時

・土、日曜日 午後10時～午後5時

※閉館30分前には要入場

◎会 場 中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）特別展示室

◎入場料 無料

◎休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）

【展示構成】

- 1 衣（洋服）
- 2 食（食器、酒瓶、牛乳瓶、生ごみ、その他）
- 3 住（下水、便所、建材、暖房具、あかり）
- 4 その他（おもちゃ、文具、習俗）

【交通機関等】

◎最寄り駅

地下鉄有楽町線 新富町駅（4番・6番出口）徒歩10分

地下鉄日比谷線 築地駅（3番・4番出口）徒歩7分

【問い合わせ先】

中央区立郷土天文館「タイムドーム明石」

中央区明石町12-1 中央区保健所等複合施設6F

電 話：03-3546-5537